

猫野郎

yukikago

1.むらさき

猫野郎 1.むらさき

○

ちょっとした事で簡単に怒りだすものだからよくない。そういう性格なのは十分分かっていても、すぐに怒っちゃうもんはしかたない。世の中なんて大半の奴は飯が食えなくなると俺のようにかっかっして、すぐに毛を逆立てて怒るもんさ。ご飯が食えねえっていうのはそういうもんさ。だから、俺をなだめる時には、秋刀魚を持ってくるといいんだ。魚がないなら肉でもいい。俺は人間の食っている豚なるものが、肉の中では一番好きさ。口ん中でもぐもぐしてると、味がじんわり出てくるから豚ってやつは好きだ。牛っていうやつは、どうも脂が強くて食べたもんじゃないね。あの肉は駄目だな。なんにせよ食うなら秋刀魚が一番だ。

○

俺は人間に好きに言わせると、「野良猫」ってやつになっちまうらしい。偉そうな事言いやがってさ。なら俺だって、そこらへんの子供を捕まえて「可愛い小人間ですね、野良人間なんですか？」って言ってやらあって思うんだよ。やらないけどさ、でも人間もそう言われたって文句はねえだろうさ。人間ってのは自分たちばかりが偉いと思ってて、ちょっと気を許すと簡単に迫害してくるからダメさ。黒猫の奴なんかは、最近はそうでもないがよ、ちょっと前までは不吉だ不吉だ言われてて、いつも嫌われてたもんな。俺の爺さんは生粋の黒猫だったからよ、そういう苦労話はうんと聞かされたよ。その度に俺はイライラして、人間ってやつはなんて外道な奴らなんだって、怒ったもんさ。

○

最近の人間ってやつはさ、自分の髪色を染めて見た目を良くしてるってんだから不思議だよな。俺なんかの毛並みはちょうど、人間で言うところの茶髪だから、化ける時にはうんと楽をしているもんさ。よく一緒に遊んでた白猫の奴なんて、人間に化けると髪の色が真っ白になっちまう。じいさんに化けるなら楽だけどよ、若者に化ける時は大変さ。そいつはもっぱらじいさんに化けるようにしてたから、なんとかなってたけどよ……白猫はこの国だと面倒だよなって思うよ。俺なんかは可愛げのない四脚だからよ、よく二脚に化けて、食べ物のために働くってやつをやるわけよ。俺は怒りっぽいけど、食べ物があればちょっとばかりはそれが抑えられるときてるんだ。人間の薬みたいなもんだな、飲んでる間は、イライラしないで済むんだ。どうせ猫としてだらけてるくらいなら、いっそ人間に化けて食いもんを頂ける方がまだマシってやつだな。人間は好かねえけどよ、あいつらは食いもんをいっぱい持ってるからな。飯の一つや二つくらい奪い取ってやったって怒りはしねえだろうさ。

俺が一番好きな働き口ってやつは、居酒屋だな。チェーン店みたいなところは駄目だ。あそこの飯は猫ですら食べたもんじゃないからさ。洒落た言い方すると小料理屋っていうのかな。そうい

う小さい居酒屋は、そもそも飯がうめえんだ。ああいうのは酒がなくなつてなんとかなりそうなもんなんだが、人間っていうのはどうにも酒ってやつを求めたがるらしいな。俺はよ、酒が飲めない奴だからさ、酒飲みの気持ちなんて分からんのさ。居酒屋で働いてると、時々酒を飲み過ぎてハメを外した奴が俺に怒鳴る事があるんだよ。俺は怒りっぽいからよ、そういう奴には絶対言い返してやるんだよ。それで毎度、店を辞めちまう。お客様に怒鳴るとは何様か、みたいな事を店のおかみさんなんか怒鳴られてよ、そうすつと、やはり、俺も怒鳴っちまって、こっちから願い下げだ！ って言って辞めちまうんだ。

○

そういう性格の俺は、やっぱ居酒屋の美味いまかないに惹かれて、どうしてもそういう所で働こうと考えちまうのさ。そうして何度か色んな居酒屋を渡り歩いて、今の小料理屋「むらさき」にご厄介になってるんだ。俺は人間なんて狸にも劣る畜生だと思ってたんだけどよ、ここの親父さんは俺の性格を好いものだと言ってくれるんだ。俺が酔っ払いと喧嘩を始めると、むしろ親父さんは酔っ払いを怒鳴りつけるんだ。親父さんは酒飲みのマナーってやつにうるさいから、そうやって酒に溺れた奴を見ると、黙ってられないんだろな。俺をかばって、マナーってやつをしこたま酔っ払いに浴びせるんだ。大体の酔っ払いは泣いて帰っていくぜ。でも不思議な事に、そういう怒鳴られた奴程、うちの店の常連になりやすいんだ。親父さんの人徳ってやつなんだろうな。俺は人間で尊敬出来る奴なんていないと思ってたけど、親父さんは別だぜ。むしろ人間である事がもったいないくらいだ。親父さんは猫に産まれるべきだったと思うぜ。

むらさきは親父さんと、俺と、親父さんの娘さんで切り盛りしてたんだ。この娘さんってやつがえらく美人さんでな、よく常連のおっちゃんたちに可愛がられてたよ。俺は口には出来ねえけどよ、武骨な親父さんの娘さんにしては綺麗過ぎるといつも思うぜ。

この娘さん目当てにくる奴ってのもいるんだが、いかんせんあの親父さんがいるだろう？ 娘さんを口説く奴なんか常に追い出されてたな。流石にそういう目的の奴は、二度と店にはこないぜ。中には女なのに口説こうする奴なんかもいて、娘さんはしどろもどろしてた時もあったな。親父さんは流石に女には強く言えない性格だから、そこは俺が怒って追い返しちまった。妙な奴だったな。服が奇抜だと、性格も奇抜になるんだろな。袴を来た奴なんて、今時卒業式くらいしかいねえってのによ。